

学 位 論 文 要 旨

氏 名 西山 高史

題 目 教頭職の広域人事異動と職能開発の関連構造－制度設計と実践を媒介する越境
学習論的考察－

学位論文要旨（和文2,000字又は英文1,000語程度）

本研究は、学校管理職の一職位である教頭職に着目し、異なる市町村間での広域人事異動（以下、広域異動）が教頭職の職能開発にどのような影響を及ぼすのかを、制度的基盤と個人の学習過程の両面から実証的に明らかにすることを目的とする。

教頭職は1974年の学校教育法改正により法制化されて以降、校長を補佐し校務を整理するとともに、教職員の監督や外部対応など学校運営の中核的役割を担ってきた。しかし、その職務は校長の補佐役あるいは校長職への準備段階として理解されがちであり、教頭職特有の職能やその形成過程に関する研究は十分に蓄積されてこなかった。

近年、学校を取り巻く環境は、人口減少や地域間格差の拡大、家庭環境の多様化、危機管理事案の複雑化などにより急速に変化しており、学校管理職、とりわけ教頭職に求められる資質・能力は高度化・専門化している。教頭は校長と教職員の間に立ち、多様な利害関係者との調整を担う「境界的存在」として、学校組織における媒介的・調整的機能を果たすことが期待されている。一方で、教頭職の職能開発は依然として日常実践を通じたOJTへの依存度が高く、体系的研修による育成効果は必ずしも高く評価されていない。このような状況のもとで、人事異動経験、とりわけ制度的・文化的差異を伴う広域異動は、管理職にとっても重要な学習機会として位置付けられてきた。しかしながら、広域異動がいかなる学習過程を通じて教頭職の職能開発に寄与するのかについては、理論的にも実証的にも十分な検討が行われていない。従来的人事異動研究は、配置管理の視点から異動の実態把握や政策分析に焦点を当ててきたが、広域異動が個人の学習や職能開発にもたらす効果とそのメカニズムについては検討が限定的であった。こうした研究上の空白を埋めることに、本研究の学術的意義である。

本研究では、広域異動が制度的に限定的でありながら、教頭職を対象とした期間限定の広域異動が運用されてきた大阪府を事例として分析を行った。研究方法は以下の三段階から構成される。第一に、全国データを用いた量的分析により、都道府県における学校管理職の広域異動の実態を整理し、その制度運用の目的に基づいて「人材補完タイプ（教育の機会均等目的）」と「人材育成タイプ（職能開発目的）」という二類型を提示した。第二に、大阪府を対象とした政策過程分析により、分権改革以前の広域異動制度の歴史的変容過程を明らかにした。地方議会の関与や市町村教育委員会の自立性が、広域異動の政策形成と運用に与えた影響を明らかにした。第三に、大阪府の教頭職を対象とする質問紙調査、インタビュー調査、それらを組み合わせた混合研究法により、広域異動が教頭職の職能開発にもたらす効果とその職能開発メカニズムを実証的に検討した。

別記様式第3号

大阪府の教頭職を対象とする質問紙調査による量的分析の結果、広域異動を肯定的に評価した教頭群は、危機管理能力、調整力、俯瞰的視野など複数の資質・能力について有意に高い自己評価を示した。また、広域異動は他の研修機会と比較しても職能開発への有益性が高く認識されていることが明らかとなった。一方で、広域異動の辞令受諾時の納得感には個人差が大きく、この納得感の程度がその後の職能開発の評価と密接に関連していることが示された。

質的分析では、広域異動が異なる制度的・文化的文脈への適応を迫る経験として教頭に文化的動揺を生じさせ、それを契機とした越境的対話や実践の再構成を通じて職能が形成されていく過程が明らかとなった。こうした学習過程は、越境学習論の枠組みによって理論的に説明可能であり、広域異動が教頭職特有の調整的・媒介的職能を深化させる契機となることが示唆された。他方、異動に対する不服感や納得感の欠如は、越境的経験を学習として意味付ける過程を弱め、適応や職能開発を阻害する要因として機能することも確認された。

本研究は、教頭職という特定の職層に焦点を当て、広域異動と職能開発の関係性を制度分析と実証分析を統合して検討した点に学術的独自性を有する。さらに、越境学習論を援用することで、広域異動を単なる経験の蓄積としてではなく、制度的・文化的差異を学習資源とする職能開発プロセスとして理論化した点に理論的貢献がある。加えて、人事政策における広域異動を「配置管理」から「職能開発の機会」へと再定位する視座を提示し、広域異動を効果的に機能させるためには、異動の制度設計や事前・事後の支援、さらには辞令受諾時の納得感を高める方策が重要であることを明らかにした点で、管理職育成政策に対して実践的示唆を提供する。

本研究は、教育行政における人事政策と職能開発を架橋する学際的研究として、今後の学校管理職育成の在り方に理論的・実践的指針を提供するものである。